

ヤギ

山羊を活用した除草方法の検証



位置図



目的

河川堤防や遊水地などの河川施設では定期的な除草作業が行われていますが、財政が圧迫する中での十分な維持管理(除草)費の確保が困難となっており、植物が繁茂してしまう問題を抱えている施設が多くないでしょうか。

自然再生事業を実施している麻機遊水地でも同様の問題を抱えており、植物が繁茂する河川施設の**新たな維持管理方法**として、山羊を活用した除草方法の有効性について検証しました。



除草検証状況

概要

検証箇所: 静岡市 葵区 漆山地先
(麻機遊水地 第3工区)

検証面積: 400m²

検証期間: 約1ヵ月 (H26. 11. 6~12. 6)

放牧頭数: 3頭(♂1頭、♀2頭)

除草効果の検証

除草効果の検証は、ポールカメラを活用した定点観測、検証箇所の植生調査、周辺施設利用者へのアンケート調査により行いました。

山羊による除草効果は、検証開始時には最大で約2mあった草丈が検証開始後10日で地肌が見えるようになり、20日後には見学者から「山羊の食べるものがないのでは」と心配の声が届くほどの**除草効果**がみられました。



11月4日撮影



12月6日撮影



地域へのPR効果

山羊を活用した除草は地域の関心度が高く、検証箇所に何度も見学に訪れる人がおりアンケートでも「再度実施して欲しい」など**好意的な意見**が多く寄せられました。また山羊と一緒に周辺施設への訪問を実施し、施設の方々に山羊と触れあってもらい大いに喜んでいただきました。

山羊を活用した除草に話題性があるのか、本内容がテレビや新聞、ラジオで取り上げられ**麻機遊水地の宣伝効果**として多大なものがありました。



見学する人々



山羊の施設訪問



メディア取材



今後の課題

- ・山羊(生物)を扱うため、毎日の世話が必要になり、実施時には協力者が必要。
- ・山羊を放牧することによる既存の植生への影響検証など追跡調査が必要。



この他にも様々な新しい取り組みの検証
実証実験 にも取り組んでいます!